

平成23年10月18日

各 位

まちなかり山公園づくりの会

次回(10月22日)の作業予定について

一雨毎に涼しくなってきました。秋の虫もかまびすしく鳴いていますが、耳を澄ませば、鈴虫がお山に多いようで一段と賑やかです。お元気ですか？

竹の間引きもそれなりに順調で、この区画はスッキリとした感じがします。

次回は前回に引き続いて竹林の間引き作業オンリーとなりそうです。早めに現在の箇所を仕上げ(モデルとして)南町〇〇〇宅側へ進むことにします。

夏バテの時期も過ぎましたので、今回から午前中一杯作業をします。

安全第一、焦らず着々と作業を楽しみましょう。



記

○ 立竹の間引き伐採と整理

一間の長さの棒がありますのでこれを間隔用定規にして作業を進めます。伐採した竹は、面倒でも1本1本枝打ちを済ませ集積し、次の立竹伐採にかかります。足場を固め、安全を十分確認してから伐採の作業を行ってください。

立竹を倒すときは必ず笛か大声で他の人に注意喚起してください。

伐採整理しても足場がきれいになっていません。竹枝や雑木、雑草の清掃をして完了となります。除草用の刈り払い機、熊手や鍬、鋸が必要となりますので、用意できる人は持参してください。

○ 新規区画の立竹伐採

現在の法面の上方向の間引き作業が終わりましたら、次は南町方面、〇〇宅裏斜め向かい側の立竹伐採にかかります。

本来なら、新規区画は〇〇宅方面へ移動して作業となるところですが、11月下旬ころ自走式の「竹チップパー」を入れて作業を行うことにします。そのため、機械の移動通路を開けておく必要が出てきますので、新規間引き区画を変更す

るものです。

(1) 枯竹の伐採

エリア確認のあとまず倒れている枯竹を切ります。周囲の雑木、散逸している枝や古木を取り除いて足場を確保してから作業にかかります。

(2) 密集している竹を間引く

次に立竹を伐採して適度な間隔に間引く作業にかかります。方法は前述のとおりです。間引き対象の竹は3年以上の古竹とします。

間引き後の状態を確認して次の区画に進みます。なお、伐採整理しても足場がきれいになっていないので竹枝や雑木、雑草の清掃を入念にします。

前回案内でも述べましたが、相当の面積でこの作業を繰り返し継続させますので、必要箇所では新たな竹垣を組みながら進めることとなります。どこに竹垣を組むか先を見ながらみんなで話し合いながら作業を進めましょう。

また、11月下旬ころ「竹チップパー」を入れますので、切り倒した竹の集積をすることとなります。必要箇所の竹垣は組むとして、事前に「竹チップパー」操作場所をきめて、倒した竹を集積していきます。粉碎用の竹の長さは、立竹1本分を3等分程度に分断（竹枝を残したままで可）したもので良いとのこと。

作業進捗状況を見て、雪の来ないうちに「竹チップパー」を入れます。

今回も竹の割れ、跳ねる竹枝など予期せぬ危険を伴いますので、顔面防護するなど十分気をつけてください。枯竹は固く、跳ねるともろにけがをします。

立竹を倒すときは必ず大声で他の人に注意喚起してください。

○ 危険回避と安全第一、前回同様十分注意して作業に当たってください。

- ・ 作業に耐え得るような上着(作業用の「ツナギ」など)を着用してください。
- ・ 水分補給、汗拭き用のタオルは各自必ず用意してください。
- ・ 頭部防護用の帽子（できればヘルメット）、目を守るためのゴーグルを着用してください。

・ 足元防護のための長靴や作業靴を履いてください。

・ 作業のための各自の機材は、忘れないよう目印をつけ、置き場所を決めておいてください。

・ 手袋は革製など頑丈なものを着用してください。

それでは がんばりましょう !!



← 密集竹の中の
古木伐採!!
ベテランでしかできない。

うめもどき→

